

保父会ニュース

1990/9/5

VOL.6

発行 北海道の子どもと保父の会

八月の例会報告

八月の例会は十八日の土曜日に、いつもの道庁別館第一・二会議室で行われました。今回の講師は、われらの会員の中の一人である藤田さんで、『絵本について』という題で以前に続いて話しをしてもらいました。

例会の始まる前には、道新の記者が取材に来ており、小田さんと色々と話しをした後、藤田さんの話しの時もしばらく同席していただきました（詳しくは新聞記事参照）。

さて、本題に戻りますが、まず最近父親が不在で悩んでいる家庭が多いので、出来るだけ父親が絵本を子どもに呼んであげる事が必要で、父親が十才まで子どもと関わりがあると、その後の関係もスムーズに行くという話がありました。

次に近年における子どもの置かれている状況を、家庭・外・TVという観点から話しがあり、家庭についてはお母さんは騒音語（「早くしなさい」・「ダメ」等）を一日七十回くらい話しているが、子どもは騒音語を聞き流してしまい、いよいよの時だけしか言う事を聞かなくなっている。子どもには、近くで小さい声で話すのが良く、遠くで大きい声で話すとは聞かないという耳の痛い（？）内容でした。

外については、昔は近所のお店に買物に行くと、子どもでもお店の人との会話が良かったが、この頃はスーパー・コンビニエンス・ストアなどあまり会話をしなくても済む店が増えたことは、困った事であるという話しでした。

TVについては、子どもが何を観ているかがわかるので、

親も一緒に見るべきだという話しがあり、今の子どもはTVを見ながら色々な事が出来るのだが、他の人と接する時もTVを見る様なつき合い方をするという事でした。

そうして現代では家庭の中で昔話が語り継がれていく状況にはなく、これに代わって絵本やTVが出てきており、絵本は読み聞かせするものであるし、毎日する事はとても良い事であるので（言葉が共有できる）、保育園では数はあまり多くなくても良いから、何回も読み聞かせる絵本を製作してほしいとの事でした。

以上のお話しを実際に絵本を使つての読み聞かせを交えてしてもらいました。その後質問及び自由討論をしました。が、その中では、絵本を読んでいる時は、子ども達に質問しないほうが良いし、後で感想を聞かないほうが良い事と、絵本の途中で子どもから質問を受けたら、きちんと聞いてあげるのは当然だが、ストーリーが途切れない程度に受け答えをした方が良いという質問に対する答えがあり、また長南さんが図書館から定期的に絵本を借りてきて自分の子どもに夫婦で読んであげているという実践報告もありました。

会員の皆さんも是非自分の子どもにも絵本を読み聞かせてあげてはいかがでしょうか。

（子どものいない人は将来、是非！）

文責 瀬尾

私たちの会が、新聞報道されました。

北海道新聞 八月二十一日朝刊掲載

子どもと保父の会 発足3年

男性も「保育のプロ」に

保母資格を持つ男性たちによる「北海道の子供と干すの会」が八月でまる三年を迎えた。主に札幌で月一回の例会や学習会のほか、今年からは会報も発行している。会長の小田進一さん（札幌・発寒ひかり保育園）は「ゆくゆくは保母さんや幼稚園の先生、保護者の方も加わってもらい保育について語りたい」と話している。

昭和五十一年に男性にもは役七百四十人。このうち保母の資格を認められてが男性は三十六人で昨年の二倍になっている。しかし、保父として働いていると思いが、一つの保育園で複数の保父を採用した例は聞いていない」という。職場で孤立しがちな男性保母者同士の親よと発足したが、この

例会の写真

同じ悩みを持つ仲間との交流は、少数派の「保父」の精神的な支えになっている。8月の例会

保父には悩みも多い。そもそもこの名前は正式な職名ではなく、資格証明書は

「保母に準じる」という内容。全国の男性保母者で組織する「全国男性保母者連絡会」（事務局・東京）は性に左右されない職名の確立に取り組んでいるが、小田さんは「受け入れやすいのであればいいじゃないか」とあえて「保父の会」の名前を会の名称にも付けた。あまり男性であることにこだわらず、あくまで子供に添いながら生活する者としての意識を大切にしたい」という。

実践的な学習重ね、会報を発行

収入面で悩む会員も

職名とともに短大卒業並みの給与では、どうしても結婚して家計を支える立場になると心細い。同会が昨年実施した保育園長や保母者へのアンケートでは、積極的に保父を採用したいと思っている園長でも、待遇面の迷いで二の足を踏んでいる人が多いことが明らかになっている。実際、意欲はあっても収入の問題などでやむなく保育現場を離れていく男性もいる。

このほか「考え方の違いが性の違いからくると取らえたり、自分の理想を職場で語りにくい」（小田さん）など、女性の職場で働くことによる悩みも。しかし、例会では個々の不満を語り合うというより専ら保育に関する学習が中心だ。八月

の例会では、会員で元保父の会社員、藤田春義さんが講師を務めて絵本の読み聞かせについて話した。古くからの名作を紹介しながらの話に、参加者らが質問をはさんだり自らの体験を話したりと会話が弾む。

例会に参加しにくい札幌以外の会員とのつながりを

「保母さんや保護者も参加を」

つ力をつけ、子供を見る目を研ぎ澄ましていく意味でも保母さんにも加わってほしい」と話し、広く外へ向けた活動も考えていくという。

会の問い合わせは事務局の瀬尾昌彦さん（札幌・白石保育園内 011・874・8222）へ

「実践に役立つ集まりだが、在は保母資格のある男性の集まりだが、実践に役立つ

「保母に準じる」という内容。全国の男性保母者で組織する「全国男性保母者連絡会」（事務局・東京）は性に左右されない職名の確立に取り組んでいるが、小田さんは「受け入れやすいのであればいいじゃないか」とあえて「保父の会」の名前を会の名称にも付けた。あまり男性であることにこだわらず、あくまで子供に添いながら生活する者としての意識を大切にしたい」という。

このほか「考え方の違いが性の違いからくると取らえたり、自分の理想を職場で語りにくい」（小田さん）など、女性の職場で働くことによる悩みも。しかし、例会では個々の不満を語り合うというより専ら保育に関する学習が中心だ。八月

の例会では、会員で元保父の会社員、藤田春義さんが講師を務めて絵本の読み聞かせについて話した。古くからの名作を紹介しながらの話に、参加者らが質問をはさんだり自らの体験を話したりと会話が弾む。

例会に参加しにくい札幌以外の会員とのつながりを

「風に吹かれて」―保父修行物語
その六一

第二はとポツポ 船戸 敬悦

十月三十一日は保母試験結果の発表の日であった。朝から心はドキドキで子ども達の前でピアノをひいて歌っている時も、絵本を読み聞かせている時も、どうも落ち着かない一日だった。しかし夕方になっても通知が来ず不安がつづてきた。「だめだったのか・・・あんなに努力したのに・・・」そして翌日も通知は来なかった。「おかしい・・大阪府に問い合わせようか・・いやもう少し待ってみよう」発表の日から二日目の朝通知が来た。通知を持つ手がふるえていた。一瞬血の気がひいていく。ハサミでカットして用紙をひろげた。「ヤッター！」合格だった。独学で挑んだ保母試験・・・今までの思いがこみあげてきて男泣きしてしまった。合格のことを園長はじめ他の先生達そして合唱団の仲間、Y子さんにも伝えた。皆自分のこともように喜んでくれたのが嬉しかった。合

格してホツと息をつく間もなく大阪の秋は終わろうとしていた。

そんなある日、園長から呼び出しがあった。私は「失礼します」といって事務室に入った。「実は突然なんやけど自閉症の子の担任してもらえにやるか？」よくよく聞いてみると、その子はT子ちゃんという五才の女の子で自閉的傾向があり、攻撃的で他の子ども達に怪我をさせてしまい通っていた保育園を退園させられてしまい今福保育園に相談に来たのだった。このことについては職員会議の中で「福祉事務所に相談してみても・・・？」「今福の職員集団で受け入れられるだろうか？」

「職員の配置体制を整えてT子ちゃんについてレポートしていくべきでは？」など様々な意見が出された。私は「T子ちゃんにとって今福がたよりなのかもしれません」と受入に賛成した。結局私が四才児クラスばら組の子ども達とT子ちゃんを担当することになり、フリーとして主任が入ってくれることになった。ばら組の子ども達は途中入園のT子ちゃんを受け入れてくれるだろうか？ちよっぴりの不安を抱く私とT子ちゃんと子ども達の育ち合いが始まるのだった。

(次号に続く)

保父男くん K



お知らせ

九月の例会は、定例の第三土曜日が祭日にあたっている事と、運動会等の行事にぶつかつたりしている会員が多い為休ませていただきます。

その代りにと急遽決定したのですが、あの“とらや帽子店”でおなじみの中川ひろたかさんが来札するのに合わせて、札幌にて交歓会をする事になりました。

九月十一日（火）場所は、札幌市中央区南五西三太陽ビル二F 板前小料理「さの字」です。

日程に余裕がなかったため札幌のメンバーのみ直接連絡しましたが、平日ですが、参加できる方は是非！！連絡を！



『十月の例会』十月二十日（土）六時半より、

関口先生を迎えての勉強会です。今回は実技を交えての会です。また、その後旭川の寺島君夫婦を祝う会も予定しています。是非参加を・・・乞う！』

おめでとう

小田先生に待望の赤ちゃんが誕生！八月二十八日のお昼の〇時十一分に三二〇グラムで元気にこの世に生まれてきました。ヤッター！ 名前は「千夏（ちなつ）」ちゃん。病気をしないですくすくと育って欲しいですね。公私ともに忙しいお父さんもしばらくは家で子育てに奮闘されることでしょう。頑張れ！小田先生！

さあ、次は誰かな？

事務局より

「ニュース」の名前に投票下さい。待つてます。また、相変わらずのお願い！ 原稿待つてます（これは、事務局だけでなく各地のメンバーです）。

会計よりのお願い

平成元年度分の会費（三千元）は、ほぼ集まりましたが、平成二年度の会費は未納の方がまだたくさんいますので、早めに「北洋銀行 北海道の子どもと保父の会 会計 瀬尾昌彦」まで振り込んでください。お願いします。

事務局

〇〇三札幌市白石区北郷二条三丁目
北白石保育園内